

令和 8 年度 年間授業計画 教科 外国語 科目 論理・表現 I

教科: 外国語 科目: 論理・表現 I 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 1 学年

教科担当者:	1組 神沼・三木	2組 河内・諫山	3組 河内・三木	4組 諫山・三木	5組 河内・神沼	6組 工藤・三木
--------	----------	----------	----------	----------	----------	----------

使用教科書:	教科書: Crown Logic and Expression I New Edition (三省堂) 副教材: CORPUS CROWN ENGLISH GRAMMAR 27 LESSONS Second Edition (三省堂)・CORPUS CROWN 総合英語第2版 (三省堂)・English Central
--------	---

教科	外国語	の目標:
【知識及び技能】	英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深め、これらの知識を、実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付ける。	
【思考力、判断力、表現力等】	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、英語で情報や考えなどを的確に理解したり、論理的に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。	
【学びに向かう力、人間性等】	英語の背景にある文化に対する理解を深め、コミュニケーションの相手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。	

科目	論理・表現 I	の目標:			
【知識及び技能】	英語の特徴や決まりを理解するとともに、それらと言語活動を効果的に関連付け、科学技術者に必要な、実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付ける。	【思考力、判断力、表現力等】	具体的な課題を設定し、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、情報を整理しながら論理的な英語で表現する、未来の科学技術者として必要な力を養う。	【学びに向かう力、人間性等】	コミュニケーションの相手に配慮しながら、主体的、自律的に英語で表現し、科学技術者として論理的に表現したり考えを伝え合う態度を育てる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
単元 1 Lesson 1 Living Your Own Way	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
【知識及び技能】	・指導事項	【知識・技能】				
時制の使い方を理解し、それを活用できる技能を身に付け、話しかけたり、例を挙げたりする言語の働きを学ぶ。	【時制】話しかける、例をあげる表現	①さまざまな時制を用いた文の構造を理解している。②既習の言語材料を使って、論理的に伝え合う技能を身に付けている。				
【思考力、判断力、表現力等】	・教材	【思考・判断・表現】	○	○	○	8
自分らしさについて学んだことを基に、自分の夢について効果的なスピーチをする力を養う。	教科書、副教材等	自分らしさについて学んだことを活用して、自分の夢についてスピーチを効果的に行っている。				
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)	【主体的に学習に取り組む態度】				
上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、自律的に取り組む態度を養う。	課題の提示・提出	上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、自律的に取り組んでいる。				
単元 2 Lesson 2 Breakfast: To Have or Not to Have	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
【知識及び技能】	・指導事項	【知識・技能】				
助動詞の使い方を理解し、それを活用できる技能を身に付け、意外・驚きを表したり、出典を示したりする言語の働きを学ぶ。	【助動詞】意外・驚きを表す、出典を示す表現	①助動詞を用いた文の構造を理解している。②既習の言語材料を使って、論理的に伝え合う技能を身に付けている。				
【思考力、判断力、表現力等】	・教材	【思考・判断・表現】	○	○	○	7
食生活と健康について学んだことを基に、理想の食生活について効果的にやり取りする力を養う。	教科書、副教材等	食生活と健康について学んだことを活用して、理想の食生活について効果的にやり取りを行っている。				
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)	【主体的に学習に取り組む態度】				
上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、自律的に取り組む態度を養う。	課題の提示・提出	上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、自律的に取り組んでいる。				
単元 3 Lesson 3 Cool Japan	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
【知識及び技能】	・指導事項	【知識・技能】				
受動態の使い方を理解し、それを活用できる技能を身に付け、聞き手を引き付けたり、詳しく説明したりする言語の働きを学ぶ。	【受動態】引き付ける、詳しく説明する表現	①受動態を用いた文の構造を理解している。②既習の言語材料を使って、論理的に伝え合う技能を身に付けている。				
【思考力、判断力、表現力等】	・教材	【思考・判断・表現】	○	○	○	8
日本文化について学んだことを基に、日本文化の魅力について意見を効果的に書く力を養う。	教科書、副教材等	日本文化について学んだことを活用して、日本文化の魅力について意見を効果的に書いている。				
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)	【主体的に学習に取り組む態度】				
上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、自律的に取り組む態度を養う。	課題の提示・提出、リソースの調査、PowerPoint発表	上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、自律的に取り組んでいる。				
定期考査(第1学期中間考査)/返却と解説						2
定期考査(第1学期期末考査)/返却と解説						2

令和 8 年度 年間授業計画 教科 外国語 科目 論理・表現 I

教科: 外国語 科目: 論理・表現 I 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 1 学年

教科担当者:	1組 神沼・三木	2組 河内・諫山	3組 河内・三木	4組 諫山・三木	5組 河内・神沼	6組 工藤・三木
使用教科書:	教科書: Crown Logic and Expression I New Edition (三省堂) 副教材: CORPUS CROWN ENGLISH GRAMMAR 27 LESSONS Second Edition (三省堂)・CORPUS CROWN 総合英語第2版 (三省堂)・English Central					

教科 外国語 の目標:

【知識及び技能】	英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深め、これらの知識を、実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、英語で情報や考えなどを的確に理解したり、論理的に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	英語の背景にある文化に対する理解を深め、コミュニケーションの相手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 論理・表現 I の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英語の特徴や決まりを理解するとともに、それらと言語活動とを効果的に関連付け、科学技術者に必要な、実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付ける。	具体的な課題を設定し、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、情報を整理しながら論理的な英語で表現する、未来の科学技術者として必要な力を養う。	コミュニケーションの相手に配慮しながら、主体的、自律的に英語で表現し、科学技術者として論理的に表現したり考えを伝え合う態度を育てる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数

令和 8 年度 年間授業計画 教科 外国語 科目 論理・表現 I

教科: 外国語 科目: 論理・表現 I 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 1 学年

教科担当者:	1組 神沼・三木	2組 河内・諫山	3組 河内・三木	4組 諫山・三木	5組 河内・神沼	6組 工藤・三木
--------	----------	----------	----------	----------	----------	----------

使用教科書:	教科書: Crown Logic and Expression I New Edition (三省堂) 副教材: CORPUS CROWN ENGLISH GRAMMAR 27 LESSONS Second Edition (三省堂)・CORPUS CROWN 総合英語第2版 (三省堂)・English Central
--------	---

教科	外国語	の目標:
【知識及び技能】	英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深め、これらの知識を、実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付ける。	
【思考力、判断力、表現力等】	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、英語で情報や考えなどを的確に理解したり、論理的に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。	
【学びに向かう力、人間性等】	英語の背景にある文化に対する理解を深め、コミュニケーションの相手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。	

科目	論理・表現 I	の目標:			
【知識及び技能】	英語の特徴や決まりを理解するとともに、それらと言語活動とを効果的に関連付け、科学技術者に必要な、実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付ける。	【思考力、判断力、表現力等】	具体的な課題を設定し、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、情報を整理しながら論理的な英語で表現する、未来の科学技術者として必要な力を養う。	【学びに向かう力、人間性等】	コミュニケーションの相手に配慮しながら、主体的、自律的に英語で表現し、科学技術者として論理的に表現したり考えを伝え合う態度を育てる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
単元 4 Lesson 4 Saving Our Planet	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
【知識及び技能】	・指導事項	【知識・技能】				
不定詞の使い方を理解し、それを活用できる技能を身に付け、提案・勧誘したり、問題点を伝えたりする言語の働きを学ぶ。	【不定詞】提案・勧誘する、問題点を伝える表現	①不定詞を用いた文の構造を理解している。②既習の言語材料を使って、論理的に伝え合う技能を身に付けている。				
【思考力、判断力、表現力等】	・教材	【思考・判断・表現】	○	○	○	7
環境問題について学んだことを基に、環境問題の解決策について効果的にやり取りする力を養う。	教科書、副教材等	環境問題について学んだことを活用して、環境問題の解決について効果的にやり取りを行っている。				
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)	【主体的に学習に取り組む態度】				
上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、自律的に取り組む態度を養う。	課題の提示・提出	上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、自律的に取り組んでいる。				
単元 5 Lesson 5 Another Life I Might Have Had	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
【知識及び技能】	・指導事項	【知識・技能】				
動名詞・分詞の使い方を理解し、それを活用できる技能を身に付け、聞いた情報を伝えたり、勧めたりする言語の働きを学ぶ。	【動名詞・分詞】聞いた情報を伝える、勧める表現	①動名詞・分詞を用いた文の構造を理解している。②既習の言語材料を使って、論理的に伝え合う技能を身に付けている。				
【思考力、判断力、表現力等】	・教材	【思考・判断・表現】	○	○	○	8
文学・読書について学んだことを基に、ブックレビューを効果的に発表する力を養う。	教科書、副教材等	文学・読書について学んだことを活用して、ブックレビューを効果的に発表している。				
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)	【主体的に学習に取り組む態度】				
上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、自律的に取り組む態度を養う。	課題の提示・提出、リソースの調査	上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、自律的に取り組んでいる。				
2 学期	定期考査(第2学期中間考査)/返却と解説					2
単元 6 Lesson 6 Living in the Future	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
【知識及び技能】	・指導事項	【知識・技能】				
比較の使い方を理解し、それを活用できる技能を身に付け、話題を導入したり、推量・判断を示したりする言語の働きを学ぶ。	【比較】話題を導入する、推量する表現	①比較を用いた文の構造を理解している。②既習の言語材料を使って、論理的に伝え合う技能を身に付けている。				
【思考力、判断力、表現力等】	・教材	【思考・判断・表現】	○	○	○	8
サイエンス・発明について学んだことを基に、人類最大の発明について効果的にプレゼンテーションをする力を養う。	教科書、副教材等	サイエンス・発明について学んだことを活用して、人類最大の発明について効果的にプレゼンテーションを行っている。				
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)	【主体的に学習に取り組む態度】				
上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、自律的に取り組む態度を養う。	課題の提示・提出、リソースの調査、PowerPoint発表	上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、自律的に取り組んでいる。				
単元 7 Lesson 7 Discovering Japan and the World	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
【知識及び技能】	・指導事項	【知識・技能】				
関係詞の使い方を理解し、それを活用できる技能を身に付け、対比・逆説を表したり、感動を表したりする言語の働きを学ぶ。	【関係詞】対比・逆説を表し、感動を表す方法	①関係詞を用いた文の構造を理解している。②既習の言語材料を使って、論理的に伝え合う技能を身に付けている。				
【思考力、判断力、表現力等】	・教材	【思考・判断・表現】	○	○	○	7
世界遺産について学んだことを基に、日本の魅力的な観光地について効果的にやり取りする力を養う。	教科書、副教材等	世界遺産について学んだことを活用して、日本の魅力的な観光地について効果的にやり取りを行っている。				
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)	【主体的に学習に取り組む態度】				
上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、自律的に取り組む態度を養う。	課題の提示・提出	上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、自律的に取り組んでいる。				
定期考査(第2学期期末考査)/返却と解説						2

令和 8 年度 年間授業計画 教科 外国語 科目 論理・表現 I

教科: 外国語 科目: 論理・表現 I 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 1 学年

教科担当者:	1組 神沼・三木	2組 河内・諫山	3組 河内・三木	4組 諫山・三木	5組 河内・神沼	6組 工藤・三木
使用教科書:	教科書: Crown Logic and Expression I New Edition (三省堂) 副教材: CORPUS CROWN ENGLISH GRAMMAR 27 LESSONS Second Edition (三省堂)・CORPUS CROWN 総合英語第2版 (三省堂)・English Central					

教科 外国語 の目標:

【知識及び技能】	英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深め、これらの知識を、実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、英語で情報や考えなどを的確に理解したり、論理的に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	英語の背景にある文化に対する理解を深め、コミュニケーションの相手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 論理・表現 I の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英語の特徴や決まりを理解するとともに、それらと言語活動を効果的に関連付け、科学技術者に必要な、実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付ける。	具体的な課題を設定し、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、情報を整理しながら論理的な英語で表現する、未来の科学技術者として必要な力を養う。	コミュニケーションの相手に配慮しながら、主体的、自律的に英語で表現し、科学技術者として論理的に表現したり考えを伝え合う態度を育てる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
単元 8 Lesson 8 Volunteer Work	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
【知識及び技能】	・指導事項	【知識・技能】				
仮定法の使い方を理解し、それを活用できる技能を身に付け、意図を尋ねたり、言い換えたりする言語の働きを学ぶ。	【仮定法】意図を尋ね、言い換える表現	①仮定法を用いた文の構造を理解している。②既習の言語材料を使って、論理的に伝え合う技能を身に付けている。				
【思考力、判断力、表現力等】	・教材	【思考・判断・表現】	○	○	○	7
ボランティアについて学んだことを基に、高校生のボランティア活動について効果的にディベートする力を養う。	教科書、副教材等	ボランティアについて学んだことを活用して、高校生のボランティア活動について効果的にディベートを行っている。				
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)	【主体的に学習に取り組む態度】				
上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、自律的に取り組む態度を養う。	課題の提示・提出、リソースの調査	上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、自律的に取り組んでいる。				
単元 10	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
【知識及び技能】	・指導事項	【知識・技能】				
【思考力、判断力、表現力等】	・教材	【思考・判断・表現】				
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)	【主体的に学習に取り組む態度】				
単元 11	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
【知識及び技能】	・指導事項	【知識・技能】				
【思考力、判断力、表現力等】	・教材	【思考・判断・表現】				
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)	【主体的に学習に取り組む態度】				
単元 12	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
【知識及び技能】	・指導事項	【知識・技能】				
【思考力、判断力、表現力等】	・教材	【思考・判断・表現】				
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)	【主体的に学習に取り組む態度】				
定期考査(学年末考査)/返却と解説						2